

## 第28回例会報告(2月3日)

## 【出席報告】

・会員数 63名 ・出席数 41名 ・欠席数 22名  
 ・当日出席率 74.07% ・前々回修正出席率 100% 18回目  
 <欠席会員> 檜垣(巧)、平尾、飯、笠間、川上、久米、黒川、松木、越智(務)、大澤、白石(天)、竹田、寺町、矢野  
 [免除会員] 原(真)、近藤(憲)、松本、村上(敬)、中川、坂本、高木、宇高  
 <1/20欠席補填> (1/18IAC)佐々木、(1/20職業奉仕)白石(天)、(1/24今治北)天野、濱田原田、門田、菅、笠間、近藤(正)、佐伯、竹田、田中、寺町、渡邊(一)、(1/25今治南)香西、(1/25松山西)青野、(1/29IM)飯

金森節生会員からご母堂様のご葬儀の会葬御礼がありました。

会長報告・1月29日(土)、四国中央市でのIMに当クラブから17名出席しました。

・先日の例会でスマトラ沖地震義援金募金にご協力ありがとうございました。53,000円集まり、クラブから補足して60,000円の義援金を送金しました。

・真部淳会員にポールハリスフェローの認証状とメダルが届いています。

幹事報告・2005-06年度全日本RC会員名簿を購入ご希望の方は事務局にご連絡下さい。

・東京RCの熊平雅人様から「抜萃のつづり」をいただいています。

・回覧物；ロータリーワールド、ロータリー世界公共イメージ推進キャンペーンキット、RYLAセミナー報告、他

3分間スピーチ/村上裕一会員；入会して1年、昨年は今治城築城400年祭、サッカークラブ愛媛FCの寄付集めに奔走した。今年は奉仕の理想に一步でも近づけるよう努力したい。

親睦活動委員会報告・吉田透会員、吉武誠治会員歓迎会の案内；2月24日(木)19:00～瀬戸にて。多数ご参加下さい。

**IM報告** 尾越優幹事 愛媛第1分区より9クラブ集まり、開会行事、基調講演、全体会議と進行。全体会議では「各クラブの歴史から学ぶもの」「我がクラブの未来を語ろう」の議題で発表し討論した。当クラブより飯会員が青少年ロータリー友の会の創設について発表した。

重松宗孝会員 基調講演は深川純一2680地区パストガバナーが「ロータリーの核にあるもの」と題して講演され、弁護士らしく理路整然として明快であった。

1)ロータリーの本質と核にある原則との相関関係；ロータリーの本質は親睦の中から奉仕の理想を生み出す集団となることであり、親睦とは、各自の心を引き付けずにはいられない精神的親睦であり、奉仕とは、クラブとしての奉仕ではなく奉仕する人を育てることである。結論として、ロータリーの核にあるのは、一業一会員の原則と規則的例会出席の原則である。

2)RCの流れ；1905年ポール・ハリスが一業一人で会員を集めつくった(一業一会員制が組織の原点)。総会にて4回連続欠席すると自然退会と決定(規則的例会出席の原則)。親睦を確保し精神的扶助、職業のPR、発想の交換にロータリーを活用。原価取引の原則。アーサー・F・シェルドンが、仲間の利益だけでなく社会的有用性の必要性を説いた。1911年、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」(He profits most who serves best)と「超我の奉仕」(Service above self)が公式標語となった。RC内で奉仕を説くのをやめ、奉仕は別団体でと考え全米RC連合会(後のRI)をつくった。

「ロータリーは親睦と奉仕の調和に宿る。ロータリーは寛容の中に宿る。」(ロータリー寛容論の確立) 2001年、規定審議会の改正：一業一会員制の崩壊(会員数50名以内のクラブは一業5名まで、会員数51名以上は一業、会員数の10%まで)、規則的例会出席原則の変更(4回連続欠席者の退会は、理事会の多数決で決定する)。

渡辺易廣副会長 全体会議では3分間の発表で、2分半で予鈴が鳴り、議事進行に有用であった。来年は当今治クラブがホストクラブとしてIMを開催するので、ご協力をお願いします。

## 次回例会(2月10日)

【国際奉仕委員会アワー】 原田政一委員長

<結婚記念日> 近藤 憲司氏(2/11) 白石 洋治氏(2/11)

[ 献立 ; 健寿司 ]